

社会医学会レター

日本社会医学会 2018-1号 2018年7月1日発行
事務局 滋賀医科大学 社会医学講座 衛生学部門 内
大津市瀬田月輪町 TEL / FAX : 077-548-2187 / 2189
E-mail: office@jssm.mail-box.ne.jp
ホームページ : http://jssm.umin.jp/

第59回 日本社会医学会総会 あいさつ

学会長：小橋 元（獨協医科大学 公衆衛生学 教授）

第59回総会を、「前を向く社会医学～次代への胎動」をメインテーマに、2018年7月21日～22日に獨協医科大学で開催させていただきます。

本学会は1960年に「社会医学に関する理論およびその応用に関する研究が発展助長すること」を目的に社会医学研究会として始まり、今年の総会が通算59回目となります。一昨年は社会医学の役割を憲法理念から見直し、昨年は社会医学の復権がメインテーマとして掲げられ、学会の還暦を前に社会医学の原点、「人が人として生きることへの熱い思い」を改めて考える大きなきっかけとなりました。学会還暦前夜の今回は、それらの成果を踏まえて、これからさらに前を向いて一步一步進んでいきたいと強く思います。

国際平和、格差社会、少子高齢化・子育て支援など、解決すべき問題などが山積し、社会が混迷を深める昨今ですが、これから社会医学が果たしていく役割は何かを考え、具体的な取り組みを進めていかねはなりません。そのために、以下の2つの「社会医学の基本的なお作法」をあらためて見直してみることとしました。一つは少しでも説得力のあるエビデンスを作るための「疫学」、もう一つは集団のトップを説得しつつ人々を巻き込むための「アドボカシー」です。今回の総会では、これらの基本的なお作法のもとに、「次代の社会を見据えた熱い議論」と「新しい一歩」を目指したいと思います。また「次代の社会医学を担う」若手の育成や関連領域との広い連携も図りたいと思います。一般演題はもちろん、たくさんのシンポジウムや教育講演、セミナーを企画しました。

会場の獨協医科大学がある栃木県壬生町は、風光明媚で風通しが良く、社会医学を議論するのに最適なところ。敷地内には立派なホテルも新しく完成しました。カクテルと餃子の街、宇都宮での熱い意見交換会、日光・足尾銅山ツアーも皆様をお待ちしております。2018年の初夏の栃木が皆様に取りまして素晴らしい思い出となりますように、また今回の総会での胎動が30年後、50年後の「社会の健康」に少しでも貢献出来ますようにとの思いを込めて、スタッフ一同、一期一会の精神で努めます。

皆様どうぞ奮ってのご参加をよろしくお願い申し上げます。

日時：2018年7月21日（土）～22日（日）

場所：獨協医科大学

<電車でのアクセス>

東北新幹線「宇都宮」→バス→東武鉄道宇都宮線
「東武宇都宮」→「おもちゃのまち」下車徒歩15分
(駅前よりバス利用の場合は「獨協医科大学病院前
バス停」にて下車、約3分)

<自家用車でのアクセス>

北関東自動車道「壬生 I.C.」から約3分。

会場：30周年記念館 関湊ホール

大学1階の138教室・120教室・145教室

メインテーマ：前を向く社会医学～次代への胎動

理事会：総会前日の20日（金）、18:30～
獨協医科大学 527 会議室

一日目（21日）

8:10～9:00 評議員会

9:00～9:10 開会式

9:20～9:50 大会長講演

「前を向く社会医学～次代への胎動」

座長 櫻井尚子（東京慈恵会医科大学）

演者 小橋 元（獨協医科大学）

9:50～10:50 教育講演1「楽しい疫学：疫学は
すべての社会医学の基礎である」

座長 小橋 元（獨協医科大学）

演者 中村好一（自治医科大学
地域医療学センター）

10:50～11:50 特別講演

「社会医学と医療概論」

座長 黒田研二（関西大学 人間健康学部）

演者 千代豪昭
(クリムフ夫律子マタニティクリニック)

12:00～12:50 特別セミナー

「子どもたちの今（社会医学的な観点から）」

座長 広瀬俊雄

(仙台錦町診療所・産業医学センター)

演者 山田 真（八王子中央診療所）

13:10～14:50 シンポジウム1

「健康のリプロダクションと

ライフサイクルをつなぐ社会医学」

座長 小橋 元（獨協医科大学）

演者 藤原武男（東京医科歯科大学）

岩室紳也（オフィスいわむろ代表）

小尾晴美（名寄市立大学）

西連地利己（獨協医科大学）

13:20～14:50 シンポジウム 2

「災害・事故への対応から学ぶ」

座長 田村昭彦 (九州社会医学研究所)
演者 尾島俊之 (浜松医科大学 健康社会医学)
緒方 剛 (茨城県土浦保健所)
洙田靖夫 (なめだりハビリクリニック)

15:20～16:50 シンポジウム 3

「国際的視野の社会医学実践」

座長 千種雄一 (獨協医科大学
熱帯病寄生虫病講座)
演者 杉下智彦 (東京女子医科大学)
富田 茂 (高田馬場さくらクリニック)
沢田貴志 (港町診療所)
田巻松雄 (宇都宮大学 国際社会学科)

15:00～17:00 上畑鉄之丞先生記念シンポジウム

「過労死予防からディーセントワークへ」

座長 埜田和史 (滋賀医科大学 社会医学講座)
演者 毛利一平 (ひらの亀戸ひまわり診療所)
杉澤誠祐 (ブリヂストン那須診療所)
瀬尾恵美子 (筑波大学附属病院
総合臨床教育センター)
齋藤光江 (順天堂大学 乳腺内分泌外科)
天笠 崇 (代々木病院)

18:30～20:30 情報交換・交流会

会場 宇都宮東武ホテルグランデ

二日目 (22日)

8:30～9:00 総会

10:50～11:50 教育講演 2

「社会医学とアドボガシー」

座長 春山康夫 (獨協医科大学 公衆衛生学)
演者 神馬征峰 (東京大学 国際地域保健学)

10:10～12:00 シンポジウム 4

「社会医学課題へ切り込む疫学」

座長 星 且二 (首都大学東京)
演者 近藤克則 (千葉大学 予防医学センター)
鈴木貞夫 (名古屋市立大学 公衆衛生学)
遠藤源樹 (順天堂大学 公衆衛生学)
大平哲也 (福島県立医科大学 疫学講座)
藤原佳典 (東京都健康長寿
医療センター)

10:10～12:00 シンポジウム 5

「次代の社会医学を考える」

座長 高鳥毛敏雄 (関西大学 社会安全研究科)
演者 北原照代 (滋賀医科大学 社会医学講座)
八谷 寛 (藤田保健衛生大学 公衆衛生)
田中 勤 (少年支援保健委員会・
Public Health)

12:10～18:00 足尾銅山ツアー

足尾の今と歴史を辿るバスでのツアーです。参加者多数のため、バスは補助席利用にて対応する予定です。ご了承ください。

理事会 (5/26) 報告の概要

- ① 会員総数 500名 (2018年5月31日現在)
一般415名、学生・院生52名、名誉33名
- ② 2017年度活動報告
 - ・第58回日本社会医学学会総会
大会長：志渡晃一先生 (北海道医療大学大学院教授)、北海道医療大学キャンパスで開催。
 - ・社会医学研究は、第34巻1号と2号 (2017年)、第35巻1号 (2018年) を発行した。
 - ・社会医学レターは、レター1号 (2017年8月)、2号 (同12月)、3号 (2018年3月) を発行した。
- ③ 2017年度決算報告
会計監査は未実施の決算案。表記の変更が必要。
- ④ 2018年度会務予定
 - ・第59回総会が大会長を小橋元理事として獨協医科大学で開催する。事前参加108名、演題数50。
 - ・理事会の開催 (3回予定)
 - ・ニュースレターの発行 (3回の予定)
 - ・機関誌「社会医学研究」の発行 (2回の予定)
 - ・ホームページによる情報発信
- ⑤ 2018年度予算案
予算案の内容に不明確な点があり、事務局で再度作成し、理事メールで検討。
- ⑥ 第60回 (2019年) 以降の総会候補地
第60回は東京慈恵会医科大学の櫻井尚子理事を大会長として東京の国領キャンパスで2019年8月6日 (火)、7日 (水) に開催する。テーマ：人々の生命と生活と生きる権利を守る環境づくり
第61回開催地は、未定。
- ⑦ その他
 - ・社会医学系新専門医制度について意見交換
 - ・2019年3月予定の選挙の選挙管理委員長を田村昭彦理事が担当することが決定

社会医学研究に投稿しましょう

査読つきの年2回刊行、バックナンバーは、インターネットで、全部読めます。原著、総説、研究報告、編集長へのレターなど、選んで投稿してください。

「社会医学研究」へ投稿される原稿の査読、改訂などの手続きを迅速化するために、原稿を電子ファイルとして以下のメール・アドレスへ送付ください。

編集委員長・櫻井尚子： nao_sakurai@jikei.ac.jp
電子ファイルを利用して投稿する場合、本文および表は必ず、「MS Word」または「一太郎」、ないしパワーポイントやエクセルを用いた電子ファイルを用いてください。

会費の納入をお願いします

会費は学会の活動にとって、なくてはならないものです。未納の方は、郵便振替 (00920-6-182953 日本社会医学学会) の用紙で、会費納入をお願いします。2013年度分からの会費は一般会員7千円、学生 (院生含む) 会員3千円です。